

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	電気回路学第二演習		
英文授業科目名	Exercises in Electrical Circuits II		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	本城 和彦		
居室	西2-525		

公開E-Mail	授業関連Webページ
honjo@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
「電気回路学第二」の講義内容をより深く理解するための演習を行う。

【前もって履修しておくべき科目】
電気回路学第一および電気回路学第一演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
微分積分学，線形代数学などの基礎数学，力学，電磁気学などの物理学関連科目

【教科書等】
参考書：平山、大附著「電気回路論[改訂版]」（電気学会） 参考書：鎌倉、上、渡辺著「電気回路」（培風館） 参考書：柳沢、西原著「基礎電気回路演習」（昭晃堂） 参考書：本城著「マイクロ波半導体回路」（日刊工業新聞社）

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

「電気回路第二」の内容に関連した演習問題を解き、レポートとして提出する。
課題内容は「電気回路学第二」のシラバスを参照のこと。
毎回1週間前に2,3題の問題を宿題として与えるので、規定の答案用紙に
全問を解答し、翌週の始業時間までに提出する。
演習の授業時間においてその模範解答を示す。提出された答案は採点(S,A,B,C,D
により評価)し後日返却する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法：レポート点，中間試験および期末試験の結果に基づいて評価する。
成績評価 = (レポート点 × 60%) + (中間試験の評価点 × 20%)
+ (期末試験の評価点 × 20%)
- (b) 評価基準：演習レポートに関しては，全課題の60%の正答率をもって合格の
最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応ずるが、電話（0424-43-5237）メール(honjo@ice.uec.ac.jp)等で事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

科目の呼び方には多少の違いがありますが、回路・システム学は電気・電子・情報・
通信工学系の全ての学生が共通に学ぶ基本的科目です。将来皆さんがこの分野の技
術者として活躍するためには必ずマスターしておかなければなりません。
演習問題をたくさん解いてこの科目を会得してください。

【その他】